

# News Release

— 令和7年度 JA共済 全国小・中学生 交通安全ポスターコンクール テーマ分析結果レポート —

## 『スマートフォンの使用マナー』が前年度に続き、訴求テーマのトップに 小学生は交通安全全般を、中学生は「自分ごと」として“歩きスマホ”の危険を描く

J A 共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 村山 美彦）が主催する「第 54 回 J A 共済 全国小・中学生 交通安全ポスターコンクール」では、全国 7 万 3, 481 点の応募の中から、各都道府県より選出された優秀作品 352 点を対象に全国審査を実施しました。J A 共済連では、平成 16 年度から、これら全国コンクール応募作品に描かれたテーマを集計し、小・中学生が、今、どのような視点で交通安全を捉えているのかを分析しています。本年度も、交通安全を考えるうえで示唆に富む結果がまとまりましたので、ご報告します。

### ■ 『スマートフォンの使用マナー』を呼びかける作品が、前年度に引き続きトップ

本年度の全国コンクール応募作品をテーマ別に分類すると、『スマートフォンの使用マナー』に関する作品が構成比 19. 0%（作品数 67 点）で最も多く、前年度に続きトップとなりました。学年別にみると、小学校低学年は 7. 5%、高学年は 43. 3%、中学生は 49. 3%と、小学校高学年から大きく増加しており、子どもたちがスマートフォンを持ち始める時期と重なる傾向が見られます。

これを訴求の対象別に分類すると、小学生の作品は、「歩行者」と「自転車」がいずれも 31. 3%、「自動車」が 37. 5%と、“ながらスマホ”の危険を道路利用者全体の問題として描いている点が特徴です。

一方で、中学生では、「歩行者」を対象としたポスターが 56. 3%と半数を超え、制服姿の学生をはじめ若者が多く描かれています。危険を強い色調で訴える作品に加え、スマートフォンに注意が向くことで周囲の危険に気づけなくなる様子を多様な構図で表現する作品も多く、“歩きスマホ”の危険性を同年代の身近な問題として捉えていることがうかがえます。



〔中 2 作品〕

### ■ 道路横断の基本ルール『手を挙げて渡ろう』が第2位に。同じ構図から生まれる多様なメッセージ

続いて、構成比 11. 4%（作品数 40 点）を占めた『手を挙げて渡ろう』に関するテーマが第 2 位になりました。学年別では、小学校低学年が 67. 5%、高学年が 22. 5%、中学生が 10. 0%と、小学校低学年を中心に多く描かれています。

しかし、同じ「手を挙げて横断する」という場面でも、作品が伝えるメッセージは一樣ではありません。

自分の存在をドライバーに知らせる合図として表現する作品のほか、「止まってくれてありがとう」といった“思いやり運転”を題材とした作品や「気づいてよ、横断歩道にいる私」など、法規的な側面からドライバーに注意を呼びかける作品なども多く見られました。道路横断という日常の身近な行為を、子どもたちが多様な視点から捉えていることが伝わってきます。



〔小 1 作品〕

## ■定番テーマの「自転車ヘルメットの着用」が第3位

次いで、『自転車のヘルメット着用』に関する作品が構成比 10.8%（作品数 38 点）で第3位となりました。学年別では、小学校低学年が 28.9%、高学年が 34.2%、中学生が 36.8%と、幅広い学年でポスターの題材に選ばれています。

内容を見ると、小学校低学年の作品は、「乗る前にかぶる」、「忘れずに持っていく」など、ストレートに呼びかけるものが中心ですが、高学年になると、百人一首かるたの取り札を模したポスターや統計的な情報を取り入れた作品など表現の幅が広がっています。

さらに中学生では、「髪型が崩れる」といった等身大の気持ちを交えつつ、「見た目より安全を大切に」と訴える作品が目立ちました。そのほか、ヘルメットを“命を守る存在”として象徴的に描いたり、ゲームの世界になぞらえて「リセットできないこと」を比喩的に示したりするなど、年齢とともに表現の抽象度や訴求方法が多様化している様子が読み取れます。



〔中2作品〕

当コンクールは、交通事故による死者が急増した昭和 47 年よりスタート。以来、子どもたちの作品は、その時々交通安全の課題を端的に映し出してきました。J A 共済は、引き続き、子どもたちの作品に込められた交通安全への願いを広く社会に届けるとともに、交通事故の未然防止に向けたさまざまな取組みを通じて、安全・安心な地域社会づくりに貢献してまいります。

## 《全国コンクール応募作品(抜粋)》

### ◇ “歩きスマホ”に対する注意を呼びかける作品



〔小6作品〕



〔中2作品〕



〔中2作品〕



〔中3作品〕

### ◇ “手を挙げて横断する”という構図の中にも様々なメッセージが込められた子どもたちの作品



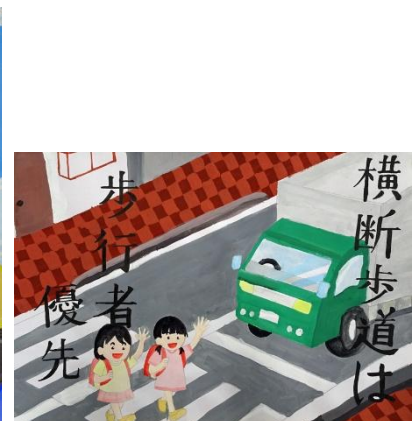
〔小2作品〕



〔小4作品〕



〔中1作品〕



〔中3作品〕



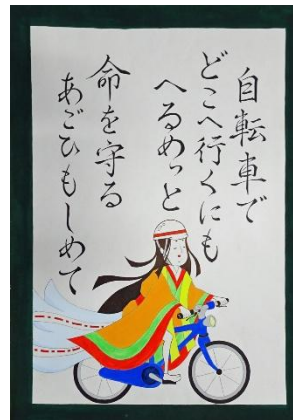
◇ “自転車のヘルメット着用”を促す作品



〔小3作品〕



〔小5作品〕



〔小6作品〕



〔中1作品〕

【詳細データ】令和7年度(第54回)交通安全ポスターテーマ集計表

	小学校低学年			小学校高学年			中学生			合計	%
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3		
スマートフォンの使用マナー	0	2	3	10	10	9	10	13	10	67	19.0%
手を挙げて渡ろう	14	11	2	4	3	2	1	3	0	40	11.4%
自転車のヘルメット着用	3	6	2	4	6	3	5	6	3	38	10.8%
よく見て渡ろう	11	3	10	2	1	1	1	0	0	29	8.2%
反射材・明るい色の服の着用	0	0	2	4	3	5	2	4	0	20	5.7%
飲酒運転禁止	0	1	4	0	1	2	3	1	3	15	4.3%
安全運転（思いやり運転）	1	1	2	3	1	1	4	0	0	13	3.7%
シートベルト・チャイルドシートの着用	0	2	2	1	2	0	1	0	4	12	3.4%
歩行者優先	0	3	0	0	2	1	4	0	2	12	3.4%
交通ルールを守ろう	0	0	2	0	2	3	1	2	0	10	2.8%
信号を守ろう	0	2	1	0	0	0	3	2	2	10	2.8%
飛び出し禁止	4	1	1	0	2	0	0	1	0	9	2.6%
自転車も車両	1	2	2	0	1	0	1	0	2	9	2.6%
無灯火危険・早めのライト点灯	0	1	0	0	1	1	2	0	2	7	2.0%
自転車は正しく乗ろう	0	1	0	0	1	1	0	2	1	6	1.7%
一時停止を守ろう	1	0	1	2	0	2	0	0	0	6	1.7%
踏切注意	1	0	1	1	0	1	0	0	0	4	1.1%
見守ってくれてありがとう	2	0	1	1	0	0	0	0	0	4	1.1%
雨の日注意	1	1	0	1	0	0	0	0	1	4	1.1%
「かもしれない」運転をしよう	0	0	1	2	0	1	0	0	0	4	1.1%
一列で歩こう（走ろう）	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	0.9%
居眠り運転に注意	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3	0.9%
脇見運転に注意	0	1	0	0	0	1	0	1	0	3	0.9%
道路や車の近くで遊ばない	0	1	1	0	1	0	0	0	0	3	0.9%
その他	0	2	0	7	1	2	1	3	5	21	6.0%
	39	41	39	42	39	38	40	38	36	352	100.0%

1位:  2位:  3位:

※ 構成比は表示単位未満を四捨五入して表示しています。

※ 小学校低学年、小学校高学年、中学生ごとの区分における順位です。

以上